3-266-521-**03**(1)

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MZ-NH3D

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

8～11ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

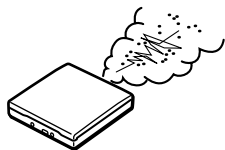
定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電スタンドなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る

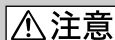
❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く/パソコンから専用USBケーブルを抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

分解禁止

行為を指示する記号

強制

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償についてはご容赦ください。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
（お問い合わせ先　（社）私的録音補償金管理協会　Tel.03-5353-0336）

- “ウォークマン”、“WALKMAN”はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。 WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。
- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- MD Simple Burner、OpenMG、Hi-MD、Net MD、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows NT、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

本機でできることと付属のマニュアルについて

このページでは、ポータブルMDプレーヤーでできることとマニュアルについて説明しています。下記を参照して、必要なマニュアルをお使いください。

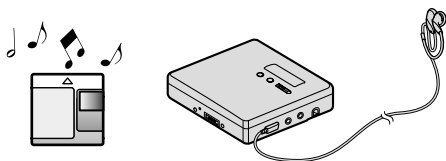
Hi-MDについて知る

「Hi-MD」とは、従来のMDフォーマットが進化した新しいMDのフォーマットです。

「Hi-MDウォークマンでこんなことができます」

Hi-MDウォークマンの主な特長や、従来のMDウォークマンとの違いを説明しています。

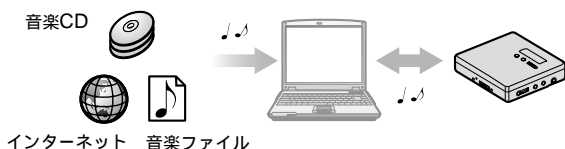
本機を使う

従来のMD機器で録音したディスクに加えて、Hi-MD機器で録音したディスクを再生して楽しむことができます。

取扱説明書（本書）

本機の操作全般について説明しています。
本機を操作中に問題が起きたり、メッセージが表示されたときの対処方法も記載しています。

➡ **困ったことがあったとき、もっと知りたいときは**
取扱説明書（本書）の「困ったときは」や「MD知っ得Q&A」（45ページから）をご覧ください。

パソコンで付属のソフトウェアを使う

本機に付属しているソフトウェアSonicStageを使って、本体とパソコンの間で音楽データを転送することができます。
MD Simple Burnerを使って、本体に音楽データを録音することができます。

インストール・操作ガイド

SonicStage Ver.2.1

MDウォークマン用 MD Simple Burner Ver.2.0

付属のソフトウェア（SonicStage Ver.2.1/MD Simple Burner Ver.2.0）の使い方について説明しています。

SonicStage Ver.2.1ヘルプ

パソコンの画面で見る電子マニュアルです。付属のソフトウェアSonicStageの中に入っています。
SonicStageの使い方について、「インストール・操作ガイド」よりもさらに詳しく説明しています。また、SonicStageをご使用中に困ったことがあった場合も、こちらをご覧ください。

パーソナルオーディオカスタマーサポート

インターネット上のホームページです。
本機と付属のソフトウェアの最新サポート情報や、Hi-MDウォークマンの活用方法を見ることができます。
http://www.sony.co.jp/support-pa/

目次

基本編

応用編

困ったときは・Q&A

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

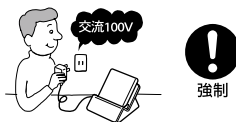
運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、パソコンから専用USBケーブルを外して、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

国内専用機は海外で使用しない

ワールドモデル以外のACアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

指定以外の充電スタンド、ACパワーアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

内部をむやみに開けない

本体および付属の機器は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電スタンドをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプター、充電スタンドを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

火のそばや炎天下などで充電・放置しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

禁止

充電スタンドの上に金属を置かない

充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

禁止

金属類と一緒に本体を携帯・保管しない

コイン、キーネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。

禁止

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや充電スタンド、製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

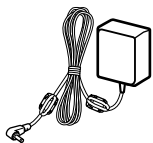
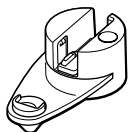
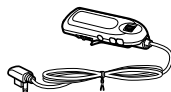
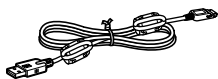
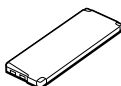
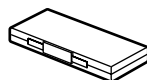
⚠危険　充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険　充電式電池について

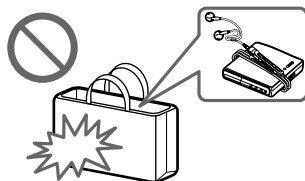
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電スタンド、ACパワーアダプター以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 長い間お使いにならないときは、充電池を取り外して湿度の低い涼しい場所で保管してください。保管する際は、充電池の劣化を防ぐため、充電池を使い切った状態や100%充電の状態で保管しないでください。

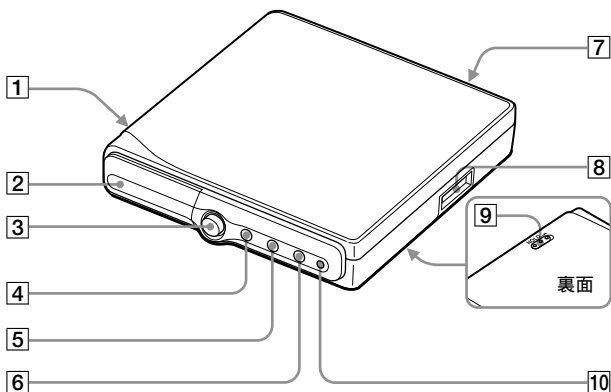
付属品を確かめる

- ACパワーアダプター
- 充電スタンド
- リモコン（漢字・カナ表示対応）
- ヘッドホン

- 専用USBケーブル（L）
- 専用USBケーブル（S）
- 充電式リチウムイオン電池LIP-4WM
- 充電池ケース

- フェライトコア
  使いかたについては、別紙「付属のフェライトコアの使いかた」をご覧ください。
- キャリングポーチ
- MZ-NH3D 取扱説明書
- CD-ROM（SonicStage Ver.2.1/MD Simple Burner Ver. 2.0）＊
- インストール・操作ガイド
  SonicStage Ver. 2.1/MDウォークマン用 MD Simple Burner Ver. 2.0
- 保証書
- ソニーご相談窓口のご案内
- カスタマー登録のお願い

＊ CD-ROMは音楽CDプレーヤーで再生しないでください。

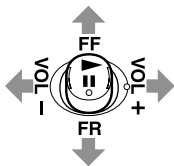
ご注意

本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

- 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
- 本体にリモコン／ヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

各部のなまえ

本体

オープン
1 OPENつまみ

2 充電池入れ

3 集中コントロールキー

操作	機能
►❚❚*を押す	再生／一時停止
ファーストリワインド FR側に倒す	頭出し／早戻し
ファーストフォワード FF側に倒す	頭出し／早送り
ボリューム VOL +*、－側に倒す	音量調節

4 ■（停止）ボタン

グループ
5 GROUPボタン

ダウンロード
6 DOWNLOADボタン／DOWNLOADランプ
シンプル　バーナー
付属のMD Simple Burnerソフトウェアを使って、パソコンのCDドライブに入れた音楽CDから本体のMDに録音するときに使います。

7 ヘッドホンジャック

8 USB接続用ジャック

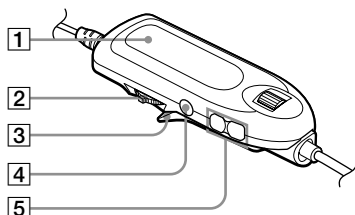
ホールド
9 HOLDスイッチ（裏面）
矢印の方向にずらすと、本体の操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。

チャージ　オペレーション
10 CHG（充電）／OPR（動作）ランプ

＊ 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

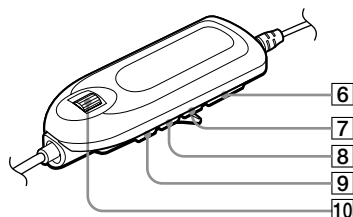
リモコン

1 表示窓

2 ジョグレバー（►II•ENTER（エンター）、⏮、⏭）

操作	機能
►II•ENTERを押す	再生／一時停止／決定
⏮側にずらす	頭出し／早戻し
⏭側にずらす	頭出し／早送り

3 クリップ

4 ■（停止）•CANCEL（キャンセル）ボタン

5 VOL（音量）＋、－ボタン

6 HOLD（ホールド）スイッチ
矢印の方向にずらして黄色いマークを表示させると、リモコンの操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。

7 •DISPLAY（ディスプレイ）・⬬BACKLIGHT（バックライト）ボタン*

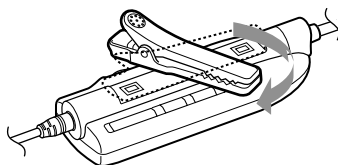
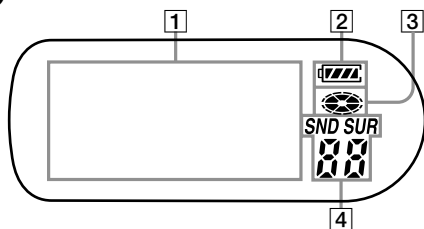
8 •P-MODE（プレイモード）・⬬REPEAT（リピート）ボタン*

9 •SOUND（サウンド）・⬬SOUND SET（サウンド セット）ボタン*

10 ジョグダイヤル（•NAVI（ナビゲーション）/⬬MENU（メニュー）/ENTER）*

＊ •は短く押したときに使える機能で、⬬は2秒以上押したときに使える機能です。

リモコンクリップの使いかた

クリップを留める位置によっては、表示窓に出る文字の向きが上下逆転し、読みにくい場合があります。その場合は、下記のようにクリップを回転させて逆向きにして留めてください。

表示窓（リモコン）

1 文字情報表示部

2 電池残量表示

3 ディスク表示

4 SND（サウンド）、SUR（サラウンド）表示

準備する

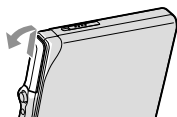
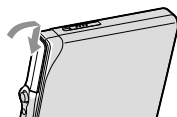
お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。

1 充電式電池を入れる

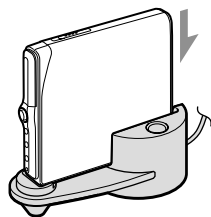
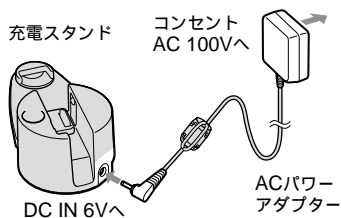
❶ **充電池入れのふたを矢印の方向へ押しながらずらす。**

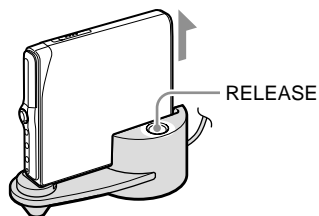
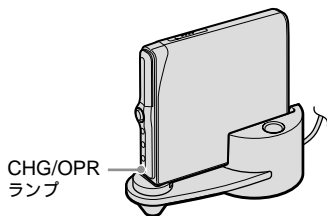
❷ **充電式電池を入れる。**
⊕⊖端子側を奥にして入れてください。

電池の表面を正面にして入れる。

❸ **ふたを閉める。**

2 充電する

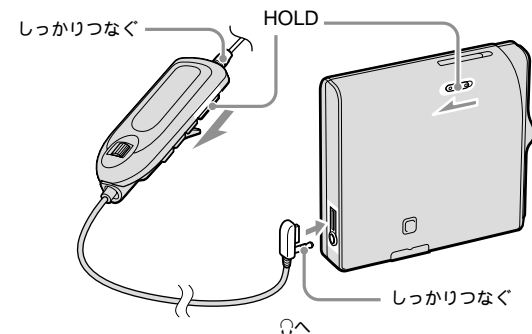
❶ **充電スタンドとACパワーアダプターをつなぎ、コンセントにつなぐ。**

❷ **本体を充電スタンドにのせる。**
押しながらはめ込みます。

❸ **CHG/OPRランプが点灯したことを確認する。**

❹ **充電が終了したら、充電スタンドのRELEASEを押して、充電スタンドから本体をはずす。**

- 充電してもすぐにCHG/OPRランプが消える場合は充分に充電されています。
- 使い切った状態から充電を始めると、約1時間でCHG/OPRランプが消え、充電が一度終了します。
  CHG/OPRランプが消えた時点で約80%充電されています。その後更に2時間ほどすると、100%充電完了となります。

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

❶ **リモコンを本体につなぐ。**

❷ HOLD**つまみをずらして、ホールドを解除する。**

充電中でも操作できます。ただし、充電完了までの時間は表示されません。

ご注意

- 充電するときは、充電式電池を入れてから本体を充電スタンドにのせてください。充電スタンドにのせてから充電式電池を入れると、充電できません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった場合、充電式電池の持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分に充電されるようになります。
- 充電にかかる時間は、周囲の温度によって異なります。(+5℃～+35℃内の温度の場所で充電してください。)

充電時期は

ご使用中、次のように確認することができます。

- 表示窓の電池残量表示で確認する。

 電池残量が少なくなっています。

電池が消耗しています。

 残量がありません。リモコンの表示窓に「電池残量がありません」(「LOW BATTERY」)が点滅し、電源が切れます。

電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況および環境により増減することがあります。

- リモコンのDISPLAYボタンを繰り返し押して、電池持続時間を確認する。
「表示窓で情報を見る」(23ページ)をご覧ください。

電池の持続時間[1)]

Hi-MDモード(Hi-MD規格専用1GBディスク)の場合 (JEITA[2)])

使用状態	リニアPCMステレオ	Hi-SPステレオ	Hi-LPステレオ
再生	約10時間	約15.5時間	約18時間

Hi-MDモード(60/74/80分ディスク)の場合 (JEITA[2)])

使用状態	リニアPCMステレオ	Hi-SPステレオ	Hi-LPステレオ
再生	約8時間	約14.5時間	約17.5時間

MDモードの場合 (JEITA[2)])

使用状態	SPステレオ	LP2ステレオ	LP4ステレオ
再生	約14.5時間	約17時間	約18.5時間

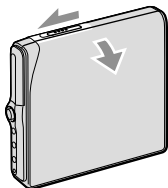
1) 充電式リチウムイオン電池100%充電時に、連続再生した場合
2) JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

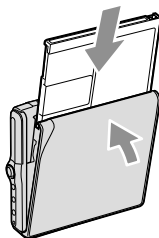
ご注意

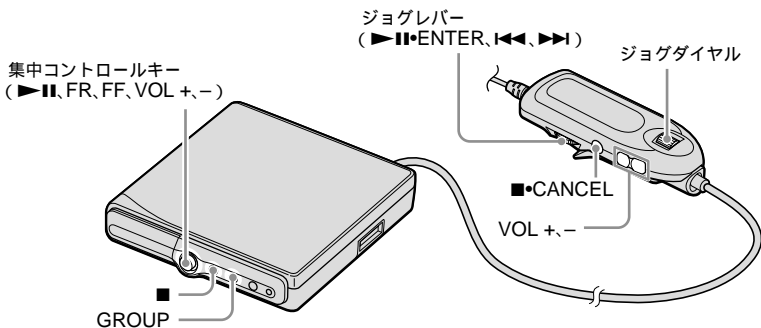
充電式電池を交換するときは、必ず本機を停止してから行ってください。

再生する

1 録音済みのディスクを入れる

❶ **OPENつまみをずらす。**
ふたが開きます。

❷ **ディスクのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。**

2 聞く

❶ **集中コントロールキーを押す（►II）。
リモコンではジョグレバーを押す
（►II•ENTER）。**
操作すると「ピ」と確認音がします。

❷ **集中コントロールキーをVOL＋、－側に倒して、音量を調節する。
リモコンではVOL ＋、－を押して、音量を調節する。**
表示窓で音量を確認できます。

止めるには、■•CANCELを押す。
操作すると「ピー」と確認音がします。次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。

こんなときは	本体操作	リモコン操作
止める	■を押す。	■•CANCELを押す。
一時停止する	►IIを押す。 もう一度押すと解除されます。	ジョグレバーを押す （►II•ENTER）。 もう一度押すと解除されます。
曲番や曲名を直接選ぶ （ダイレクト選曲）	—	ジョグダイヤルを回して聞きたい曲を表示させ、押す。
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	集中コントロールキーをFR側に倒す。またはさらに戻したい曲数だけFR側に倒す。	ジョグレバーを I◄◄ 側にずらす。またはさらに戻したい曲数だけ I◄◄ 側にずらす。
次の曲を頭出しする	集中コントロールキーをFF側に倒す。	ジョグレバーを►►I側にずらす。
再生しながら早戻し／早送りする	集中コントロールキーをFRまたはFF側に倒したままにする。	ジョグレバーをI◄◄ または►►I側にずらしたままにする。
経過時間を見ながら聞きたい場所を探す （タイムサーチ）	一時停止中、集中コントロールキーをFRまたはFF側に倒したままにする。	一時停止中、ジョグレバーをI◄◄ または►►I側にずらしたままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す （インデックスサーチ）	停止中、集中コントロールキーをFRまたはFF側に倒したままにする。	停止中、ジョグレバーをI◄◄ または►►I側にずらしたままにする。
グループの頭出しをする[1] （グループスキップ）	停止中、GROUPを押してから集中コントロールキーをFRまたはFF側に倒す。	—
ディスクの最初の曲から再生を始める	停止中、►IIを2秒以上押したままにする。	停止中、ジョグレバーを2秒以上押したままにする（►II•ENTER）。
ディスクを取り出す	■を押してからOPENつまみをずらしてふたを開ける[2]。	■•CANCELを押してから本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける[2]。

[1] ディスクにグループが1つもない場合は、10曲ごとの頭出しになります。
[2] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

再生が始められないときは

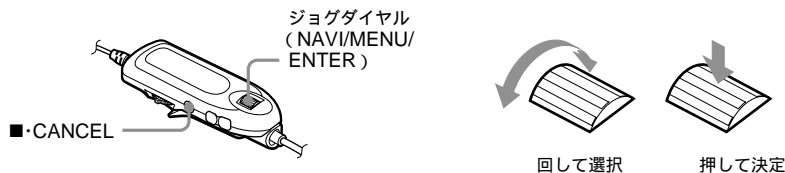
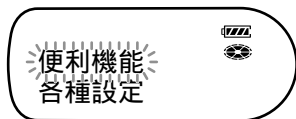
ホールド（誤操作防止）スイッチを確認してください（13、14、17ページ）。

ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
• 強い衝撃が連続的に与えられた場合
• 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合

Hi-MDモードでお使いのディスクの場合、最大で約12秒間音が途切れることがあります。

メニュー操作のしかた

本機では、便利な機能をメニューを使って操作します。メニューの操作は下記の手順で行います。
お買い上げ後、はじめてメニュー操作をすると、表示窓に「メニューモード」が点滅します。お使いになる前に、メニューモードを「シンプル」（基本的な項目のみ表示）または「アドバンスド」（すべての項目を表示）に設定して、メニューに表示される項目を選んでください。詳しくは「表示されるメニュー項目を変更する」（31ページ）を参照して、メニューモードを設定してください。

1 ジョグダイヤル（NAVI/MENU/ENTER）を2秒以上押す。
メニュー画面になります。

2 ジョグダイヤルを回して、項目を選択する。

3 ジョグダイヤルを押して、項目を決定する。

4 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。
最後にジョグダイヤルを押した時点で設定が確定します。

1つ前の段階に戻すには

■•CANCELボタンを押す。

途中で中止するときは

■•CANCELボタンを2秒以上押す。

メニュー一覧

設定できるメニュー項目は以下のとおりです。リモコンのみで設定できます。「メニューモード」（「Menu Mode」）の設定が「アドバンスド」（「Advanced」）になっているときは、すべてのメニューが表示されます。「シンプル」（「Simple」）になっているときは、＊が付いているメニュー項目は表示されません。詳しくは、「表示されるメニュー項目を変更する」（31ページ）をご覧ください。

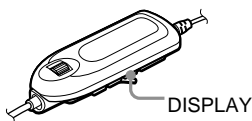
ご注意

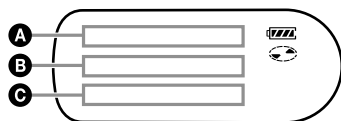
表示される項目は、操作状況やディスクの設定により異なります。

表示窓に表示される内容を、日本語または英語に設定することができます。詳しくは「表示の言語を選択する」（34ページ）をご覧ください。

第一階層	第二階層	機能	参照ページ
便利機能／Useful＊	曲検索／Search＊	曲を検索する	28
	スピードコントロール／SpeedControl＊	再生速度を変える	30
各種設定／Option	メニューモード／Menu Mode	メニューの表示項目を変更する	31
	AVLS／AVLS＊	ヘッドホンからの音漏れを押さえる	31
	操作確認音／Beep＊	確認音の設定をする	32
	バックライト設定／Backlight	リモコン表示窓のバックライトの設定をする	32
	ディスクメモリー／Disc Memory＊	ディスクの設定を記録する	32
	クイックモード／Quick Mode＊	すばやく再生を始める	33
	ディスクモード／Disc Mode	ディスクモード（Hi-MDまたはMD）を設定する	34
	コントラスト調整／Contrast＊	リモコンの表示窓の濃淡を調節する	34
	表示言語／Language	表示の日本語／英語の設定する	34
	表示方式選択／JP Character＊	表示の漢字優先／漢字カナ交互の設定をする（MDモード時のみ）	35
	ジョグダイヤル／Jog Dial＊	表示窓のスクロール方向を変える	35

表示窓で情報を見る

再生中に、表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。

1 再生中にDISPLAYを繰り返し押す。

押すたびに、表示は次のように変わります。

それぞれのマークに続いて名前が表示されます。

- ：ディスク名
- ：曲名
- ：グループ名
- ：アーティスト名
- ：アルバム名

表示A/B/C

A	B	C
グループ番号[1]	曲番と経過時間	• 曲名とアーティスト名（Hi-MD） • 曲名（MD）
曲番[1]	再生中の曲の残り時間	•「1曲残り時間／1 Remain」と曲名、アーティスト名（Hi-MD） •「1曲残り時間／1 Remain」と曲名（MD）
残り曲数[1]	再生できる残り時間	「再生残り時間／All Remain」とディスク名
• ディスク名とアーティスト名（Hi-MD）[2] • ディスク名（MD）[2]	• グループ名とアルバム名（Hi-MD）[3] • グループ名（MD）[3]	曲名
サウンドモード名[4]	選ばれている各サウンドモード表示	
充電式電池の持続時間／状態[5]		「電池持続時間／Batt Status」
• コーデック（Hi-MD）[4] •（表示なし）（MD）[4]	• 曲の録音モードとビットレート（Hi-MD） • 曲の録音モード（MD）	•「録音再生形式／Codec」（Hi-MD） •「録音再生形式／Track Mode」（MD）

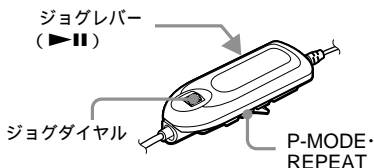
1) メイン再生モードが選ばれているときは、メイン再生モードのマークが表示されます。
2) グループに属していない曲を再生中は、曲番が表示されます。
3) グループに属していない曲を再生中は、ディスク名が表示されます。
4) メニューモードが「シンプル」（「Simple」）に設定されているときは表示されません（31ページ）。
5) 表示される時間は、+25℃の環境で連続再生した場合の目安の時間です。電池残量が充分に残っているときは「残量充分」（「Plenty」）、消耗しているときは「電池切れ間近」（「Almost Empty」）と表示されます。ACパワーアダプターでお使いの場合は表示されません。

ご注意

- ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。
- 充電式電池の持続時間／状態は、再生を始めてから約1分後に表示されます。また、使用環境や充電式電池の状態によっては、正しく表示されないことがあります。

再生モードを選ぶ

再生モードを選んでいろいろな方法で曲を聞くことができます。再生モードは、メイン再生モード、サブ再生モード、リピート再生の3つの組み合わせで設定します。

- メイン再生モード：再生したい曲やグループなどの単位を選ぶ。
- サブ再生モード：再生方法を選ぶ。
- リピート再生：リピート再生を設定する。

メイン再生モードを選んで聞く

リモコンのジョグダイヤルでナビゲーションモードに入り、メイン再生モードで最初に再生する曲を選びます。

1 再生中にジョグダイヤルを押す。
ナビゲーションモードに入り、メイン再生モード選択画面になります。

2 ジョグダイヤルを回してお好みの再生モードを選び、押して決定する。

表示	再生状態
通常再生 (Normal Play)	通常の再生（ディスク全曲を1回再生）
グループ再生 (Group Play)	グループ再生（今再生しているグループのみを再生）
アーティスト再生 (Artist Play)*	アーティスト再生（お好みのアーティストの曲のみを再生）
アルバム再生 (Album Play)*	アルバム再生（お好みのアルバムの曲のみを再生）
ブックマーク再生 (BookmarkPlay)	ブックマーク再生（ブックマーク（しおり）がついている曲のみを順番に再生）
プログラム再生 (Program Play)	プログラム再生（聞きたい曲を好きな順に並べかえて再生）

* Hi-MDモードの場合のみ表示されます。

通常のモードで曲を聞く（通常再生）

1 「メイン再生モードを選んで聞く」（24ページ）の手順1と2を行い、手順2で「通常再生」（「Normal Play」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回してお好みのグループを選び、押して決定する。
選んだグループ内の曲の一覧が表示されます。
ディスクにグループが1つもない場合は、この手順は必要ありません。

3 ジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、押して決定する。
選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、ディスクの最後の曲までを再生します。

グループの曲を聞く（グループ再生）

1 「メイン再生モードを選んで聞く」（24ページ）の手順1と2を行い、手順2で「グループ再生」（「Group Play」）を選ぶ。
グループの一覧が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回してお好みのグループを選び、押して決定する。**
選んだグループ内の曲の一覧が表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、押して決定する。**
選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、グループ内の最後の曲までを再生します。

- 再生中に本体のGROUPを押してから、集中コントロールキーをFRまたはFF側に倒すと、グループの頭出しをすることができます。
- ディスクにグループが1つもない場合は、「Group – –」と表示されます。

アーティストを選んで曲を聞く（アーティスト再生）（Hi-MDモードの場合のみ）

曲にアーティスト名がついていると、アーティスト名で曲を検索して聞くことができます。

1 **「メイン再生モードを選んで聞く」**（24ページ）**の手順1と2を行い、手順2で「アーティスト再生」**（「Artist Play」）**を選ぶ。**
アーティストの一覧が50音順に表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回してお好みのアーティスト名を選び、押して決定する。**
選んだアーティストの曲の一覧が、録音された順に表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、押して決定する。**
選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、曲の一覧の最後の曲までを再生します。

再生中に本体のGROUPを押してから、集中コントロールキーをFRまたはFF側に倒すと、アーティストの頭出しをすることができます。

アルバムを選んで聞く（アルバム再生）（Hi-MDモードの場合のみ）

曲にアルバム名がついていると、アルバム名で曲を検索して聞くことができます。

1 **「メイン再生モードを選んで聞く」**（24ページ）**の手順1と2を行い、手順2で「アルバム再生」**（「Album Play」）**を選ぶ。**
アルバムの一覧が50音順に表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回してお好みのアルバム名を選び、押して決定する。**
選んだアルバムの曲の一覧が、録音された順に表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、押して決定する。**
選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、アルバムの最後の曲までを再生します。

再生中に本体のGROUPを押してから、集中コントロールキーをFRまたはFF側に倒すと、アルバムの頭出しをすることができます。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマーク再生）

好きな曲にブックマーク（しおり）をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

ブックマークをつけるには

1 ブックマークをつけたい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。
ブックマークの1曲目が登録されます。

2 手順1を繰り返してブックマークをつけていく。

ブックマークした曲を再生するには

1 「メイン再生モードを選んで聞く」（24ページ）の手順1と2を行い、手順2で「ブックマーク再生」（「Bookmark Play」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して再生したい曲を選び、押して決定する。
選んだ曲から順に、最後にブックマークされた曲まで再生されます。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

好きな順に曲やグループを並べかえて聞く（プログラム再生）

曲やグループを好きな順に並べかえて聞くことができます。

曲をプログラムする（トラックプログラム）

1 「メイン再生モードを選んで聞く」（24ページ）の手順1と2を行い、手順2で「プログラム再生」（「Program Play」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「トラック」（「Track」）を選び、押して決定する。

3 「曲を探す」（28ページ）の手順2〜4を行う。
プログラムの1曲目が登録されます。

4 手順3を繰り返して曲をプログラムする。
64曲までプログラムできます。

5 選び終わったらジョグダイヤルを2秒以上押して決定する。
設定が確定し、「PGM」が表示され、プログラムの1曲目から再生が始まります。

グループをプログラムする（グループプログラム）

1 「メイン再生モードを選んで聞く」（24ページ）の手順1と2を行い、手順2で「プログラム再生」（「Program Play」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「グループ」（「Group」）を選び、押して決定する。

3 **ジョグダイヤルを回してグループを選び、押して決定する。**

4 **手順3を繰り返してグループをプログラムする。**
20個までプログラムできます。

5 **選び終わったら、ジョグダイヤルを2秒以上押して決定する。**
プログラムが確定し、「PGM」が表示され、プログラムの最初のグループの1曲目から再生が始まります。

プログラム中に、ジョグダイヤルを押すと、それまでにプログラムした曲やグループを確認できます。

サブ再生モードを選ぶ

メイン再生モードで選んだ曲を、いろいろな再生のしかたで聞くことができます。
例えば、メイン再生モードで「グループ再生」(「Group Play」)を、サブ再生モードで「SHUF」を選ぶと、選んだグループの中の曲を順不同に再生することができます。

P-MODE**を繰り返し押す。**
押すたびに表示は次のように変わります。

表示	**再生モード**
(表示なし)	通常の再生(全曲を1回再生)
1	1曲再生(選んだ1曲のみ再生)
SHUF	シャッフル再生(メイン再生モードで選んだ曲を順不同に再生)
A- (A-B ⊂)*	A-Bリピート再生(曲の中のA点とB点を繰り返し再生)

* メニューモードが「シンプル」(「Simple」)に設定されているときは表示されません(31ページ)。

曲中の指定した部分だけを繰り返して再生する(A-Bリピート再生)

曲の中にA点とB点を指定して、その間を繰り返し聞くことができます。A点とB点は、必ず同一曲内に指定してください。

1 **繰り返したい部分を含んでいる曲を再生中に、**P-MODE**を繰り返し押し、「**A-**」を表示させる。**

2 **繰り返しを始めたい点(**A**点)でジョグダイヤルを押す。**
A点が決定し、「B」が点滅します。

3 **繰り返しを終えたい点(**B**点)でジョグダイヤルを押す。**
B点が決定し、「A-B」と「⊂」が点灯し、A点とB点の間を再生します。

A-Bリピート再生中にジョグレバーを▶▶I側にずらすと、A点、B点を設定し直すことができます。

ご注意
A点を選んでいる途中でディスクの最後まで再生してしまったときは、A-Bリピートの設定が中止されます。

繰り返し聞く(リピート再生)

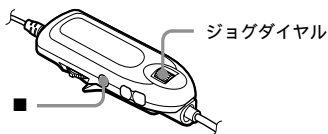
A-Bリピート再生以外の再生モードのとき、曲を繰り返し聞くことができます。

REPEAT**を2秒以上押す。**
「⊂」が点灯します。

解除するには

REPEATを2秒以上押して「⊂」を消す。

曲を探す

曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名から検索して、お好みの曲を簡単に探すことができます。アーティスト名とアルバム名はHi-MDモードでお使いのディスクのときのみ表示されます。

1 メニュー操作で「便利機能」–「曲検索」（「Useful」–「Search」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して、曲の検索方法を選び、押して決定する。

表示	検索方法
曲名検索 (by Track)	曲名から検索する
グループ検索 (by Group)	グループ名から検索する
アーティスト検索 (by Artist)*	アーティスト名から検索する
アルバム検索 (by Album)*	アルバム名から検索する

* Hi-MDモードの場合のみ表示されます。

**3 手順2で「曲名検索」（「by Track」）を選んだ場合は手順4へ進む。
それ以外はジョグダイヤルを回してお好みのグループ、アーティスト、アルバムを選び、押して決定する。**
選んだグループ、アーティスト、アルバムの中の曲の一覧が表示されます。

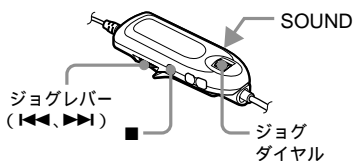
4 ジョグダイヤルを回して曲を選び、押して決定する。
選んだ曲の再生が始まります。

ご注意

- 手順4のあとはメイン再生モードとサブ再生モードは解除されます（リピート再生は働きます）。
- 曲の検索中、名前がついていない曲は、曲の一覧の一番最後に表示されます。
- 選んだ項目を並べ変えている間は、「並び替え中です」（「SORTING」）と表示されます。「並び替え中です」（「SORTING」）が消えるまで操作しないでください。

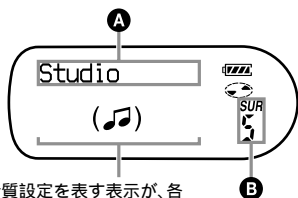
好みの音にする
（バーチャルサラウンド・6バンドイコライザ）

音の臨場感を変えたり、お好みの音質を選択・設定することができます。
次の2つの効果から1つ選べます。

- V-SUR（**バーチャルサラウンド**）：音の臨場感を変える。（4種類）
- 6 BAND EQUALIZER（**6バンドイコライザ**）：音質を変える。（6種類）

臨場感を変える
（バーチャルサラウンド）

1 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SUR」を表示させる。

2 SOUNDを2秒以上押す。

3 ジョグダイヤルを回してサラウンドの種類を選ぶ。

ジョグダイヤルを回すとⒶとⒷが次のように変わります。

Ⓐ	Ⓑ
Studio	*SUR* S
Live	*SUR* L
Club	*SUR* C
Arena	*SUR* A

4 **ジョグダイヤルを押して決定する。**

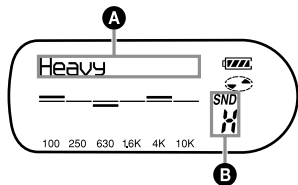
設定を解除するときは

手順1でⒷに何も表示されていない状態（Normal）を選ぶ。

音質を選ぶ（6バンドイコライザ）

1 **再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SND」を表示させる。**

2 **SOUNDを2秒以上押す。**

3 **ジョグダイヤルを回してサウンドの種類を選ぶ。**

ジョグダイヤルを回すとⒶとⒷが次のように変わります。

Ⓐ	Ⓑ
Heavy	*SND* H
Pops	*SND* P
Jazz	*SND* J
Unique	*SND* U
Custom1	*SND* 1
Custom2	*SND* 2

4 **ジョグダイヤルを押して決定する。**

設定を解除するときは

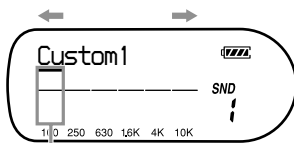
手順1でⒷに何も表示されていない状態（Normal）を選ぶ。

好みの音質にする

「Custom1」と「Custom2」には、お好みの音質を記憶させることができます。

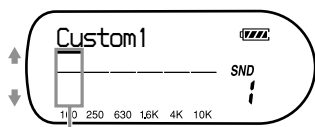
1 **「音質を選ぶ（6バンドイコライザ）」の手順1〜3を行い、「Custom1」または「Custom2」を表示させる。**

2 **ジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして周波数を選ぶ。**

周波数（100Hz）

周波数は次の6つから選べます。
100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz

次ページへつづく

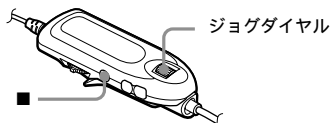
4 **ジョグダイヤルを回してレベルを調節する。**

レベル(+10dB)

レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

5 **手順3と4を繰り返す。**

6 **ジョグダイヤルを押して決定する。**

再生速度を変える
(スピードコントロール)

語学学習などで再生速度を変えたいときに便利です。音程を変えずに再生速度だけが変わります。
+100%〜–50%までの13段階から再生速度を選ぶことができます。

1 **再生中に、メニュー操作で「便利機能」–「スピードコントロール」(「Useful」–「SpeedControl」)を選ぶ。**
再生速度の設定画面になります。

2 **ジョグダイヤルを回して速度を選び、押して決定する。**
再生音を聞きながら再生速度を選んでください。

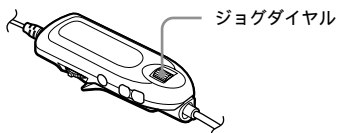
決定すると、表示窓に「SC」と表示されます。

通常の速度に戻すには
手順2で再生速度を0%にし、決定する。

ご注意

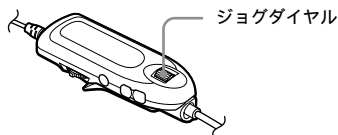
再生速度を変えると、再生中に「プチプチ」という音が聞こえたり、エコーがかかったように聞こえる場合があります。

表示されるメニュー項目を変更する（メニューモード）

表示されるメニュー項目を全部表示するように設定するか（「アドバンスド／Advanced」）、基本的な項目のみを表示するか（「シンプル／Simple」）、選ぶことができます。
表示されないメニュー項目については、「メニュー一覧」(22ページ)を参照してください。

1 メニュー操作で「各種設定」–「メニューモード」（「Option」–「Menu Mode」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「シンプル」または「アドバンスド」（「Simple」／「Advanced」）を選び、押して決定する。

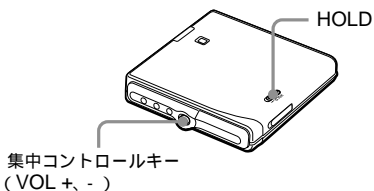
音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLS－オートボリュームリミッターシステム－快適音量）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

1 メニュー操作で「各種設定」（「Option」）–「AVLS」を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「AVLSオン」（「AVLS On」）を選び、押して決定する。
音量を一定のレベル以上に上げようとすると、表示窓に「AVLS」が点滅し、それ以上音量が上がらなくなります。

設定を解除するには

手順2で「AVLSオフ」（「AVLS Off」）を選ぶ。

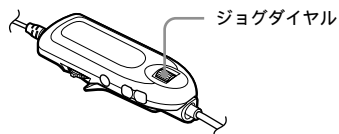
本体で操作する

設定するには

再生中、HOLDスイッチを◀━の方向にずらし、集中コントロールキーをVOL －方向に倒しながら、HOLDスイッチを◀━と逆方向にずらします。

設定を解除するには

再生中、HOLDスイッチを◀━の方向にずらし、集中コントロールキーをVOL + 方向に倒しながら、HOLDスイッチを◀━と逆方向にずらします。

確認音を消す

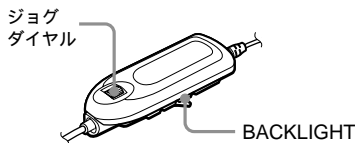
本体・リモコンの確認音を鳴らす／鳴らさないの設定をすることができます。

1 **メニュー操作で「各種設定」–「操作確認音」（「Option」–「Beep」）を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回して「確認音オフ」（「Beep Off」）を選び、押して決定する。**

設定を戻すには

手順2で「確認音オン」（「Beep On」）を選ぶ。

表示窓のバックライトをつける／消す

リモコンの表示窓を常に点灯させる／点灯させないの設定をすることができます。

1 **停止中に、メニュー操作で「各種設定」–「バックライト設定」（「Option」–「Backlight」）を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回してお好みの設定を選び、押して決定する。**

表示	設定
オート点灯（AUTO）	操作中は点灯。何もしないで数秒たつと消灯。
常時点灯（ON）	動いているときは常に点灯。
常時消灯（OFF）	常に消灯。

「オート点灯」（AUTO）に設定中、必要なときだけバックライトをつけるには

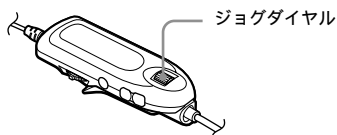
BACKLIGHTを2秒以上押す。

BACKLIGHTボタンを押しているときは、表示窓のバックライトが点灯します。

ディスクごとに設定を記憶する（ディスクメモリー）

本機は、ディスクの設定情報を本体に自動的に登録するように設定されています（お買い上げ時の設定）。この設定にしていると、ディスクを取り出すときに設定情報を自動的に登録し、登録したディスクを再度入れたときに設定情報を自動的に呼び出します。次の設定情報が登録されます。

- プログラム再生
- ブックマーク
- 6バンドイコライザの「Custom1」「Custom2」

この設定は次の手順で確認することができます。

1 ディスクを取り出してから、メニュー操作で「各種設定」–「ディスクメモリー」（「Option」–「Disc Memory」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「ディスクメモリーオン」（「On」）を選び、押して決定する。

設定を解除するには

手順2で「ディスクメモリーオフ」（「Off」）を選ぶ。

登録を消すには

1 登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認する。

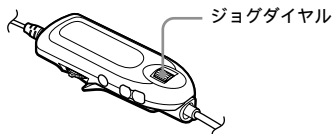
2 手順2で、「1メモリー消去」（「1MemoryErase」）を選ぶ。
ディスクの設定情報は登録から削除されます。

「ディスクメモリーオン」（「On」）に設定されていると、登録したディスクをいれたときに、「ディスクメモリー」（「Disc Memory」）が表示されます。

ご注意

- 最大でディスク64枚分を登録することができますが、64枚を越えると再生した時期が古いものから自動的に消去されます。登録できるディスク数は、ディスクに録音されている曲数によって異なります。ディスク1枚あたりの曲数が多くなると、登録できるディスク数は少なくなります。
- ディスクメモリーの登録を行ったことがないディスクで、登録の消去を行うと「メモリーされていないディスクです」（「NO DISC MEMORY」）と表示されます。

すばやく音を聞く（クイックモード）

本機は、再生ボタンを押したあとに、すばやく再生音を聞くことができるように設定されています（お買い上げ時の設定）。
この設定は次の手順で確認することができます。

1 停止中または再生中に、メニュー操作で「各種設定」–「クイックモード」（「Option」–「Quick Mode」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「クイックモードオン」（「Quick On」）を選び、押して決定する。

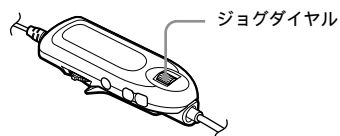
長い間お使いにならないときは

手順2で「クイックモードオフ」（「Quick Off」）を選ぶ。
使用していないときの電池の消耗を抑えることができます。

ご注意

設定を「クイックモードオン」（「Quick On」）にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。電池を全て消耗すると、自動的に本体内部の電源が切れます。

ディスクモードを選ぶ
（ディスクモード）

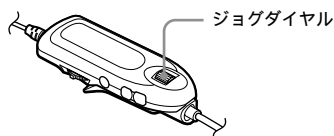
従来の60/74/80分ディスクがブランクディスクのとき、そのディスクをHi-MD形式にするか、MD形式にするかを選ぶ機能です。
本機をパソコンに接続し、SonicStageソフトウェアで初期化したディスクを、Hi-MDに対応していない他の機器でもお使いになる場合は、ディスクモードを「MD」に設定してください。

1 メニュー操作で「各種設定」–「ディスクモード」（「Option」–「Disc Mode」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「Hi-MD」（お買い上げ時の設定）または「MD」を表示させ、押して決定する。

ご注意

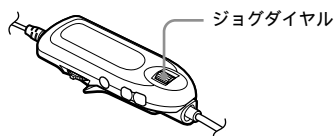
- Hi-MD規格専用1GBディスクをお使いのときも、「ディスクモード」（「Disc Mode」）の設定で「MD」を選ぶことができますが、お使いになれる動作モードはHi-MDモードのみです。
- SonicStageソフトウェアで60/74/80分ディスクを初期化した場合、または60/74/80分のブランクディスクの動作モードを選んだ場合でも、そのブランクディスクを本機でお使いになるときの動作モードは、「ディスクモード」（「Disc Mode」）の設定に従います。

表示窓の濃淡を調節する
（コントラスト調整）

リモコンの表示窓のコントラストを調節することができます。

1 停止中に、メニュー操作で「各種設定」–「コントラスト調整」（「Option」–「Contrast」）を点滅させ、押して決定する。

2 ジョグダイヤルを回して表示窓の濃淡を選び、押して決定する。

表示の言語を選択する

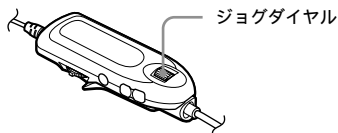
リモコンの表示窓に表示される言語を、日本語または英語に切り換えることがで

1 メニュー操作で「各種設定」–「表示言語」（「Option」–「Language」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「日本語表示」または「英語表示」（「Japanese」／「English」）を表示させ、押して決定する。

パソコンで入力したタイトルの表示方法を切り替える

MDモードでお使いの場合のみ切り替えることができます。Hi-MDモードでお使いの場合は、切り替えはできません。
MDモードの場合、表示方法は2種類あります。

- **漢字優先**：お買い上げの設定。通常はこちらにしておきます。
- **漢字カナ交互**：パソコンで文字入力時、全角エリアと半角エリアにそれぞれ違う情報（例：全角エリアに曲名、半角エリアにアーティスト名など）を登録した場合などに選びます。両方の情報が表示されます。

「漢字カナ交互」にするには、次の手順で切り替えてください。

1 メニュー操作で「各種設定」–「表示方式選択」（「Option」–「JP Character」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「漢字カナ交互」（「Kanji & Kana」）を選び、押して決定する。

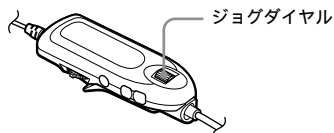
設定を戻すには

手順2で「漢字優先」（「Kanji First」）を選ぶ。

ご注意

本機では、パソコンソフトでの文字入力時には全角にしていても、英数字とスペースについては、全て半角で表示されます。

表示窓のスクロール方向を変える

お買い上げ時の設定では、ジョグダイヤルを下方向へ回すと、表示窓の項目が下方向にスクロールしますが、これを上方向にスクロールするように変えることができます。

1 メニュー操作で「各種設定」–「ジョグダイヤル」（「Option」–「Jog Dial」）を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回して「逆方向スクロール」（「Reverse」）を選び、押して決定する。

設定を戻すには

手順2で「通常スクロール」（「Default」）を選ぶ。

パソコンとつないでできること

パソコンと接続して使うには、まず付属のCD-ROMを使ってソフトウェアをインストールしてください。インストールのしかたについては、別冊の「インストール・操作ガイド SonicStage Ver.2.1/MDウォークマン用 MD Simple Burner Ver.2.0」をご覧ください。

付属のソフトウェアを使う

詳しい説明については、別冊の「インストール・操作ガイド SonicStage Ver.2.1/MDウォークマン用 MD Simple Burner Ver.2.0」またはヘルプをご覧ください。

- **本機とパソコンの間で音楽データを転送する**
  付属のSonicStageソフトウェアを使って、本機とパソコンの間で音楽データをやり取りすることができます。
- **CDから直接MDへ曲を録音する**
  付属のMD Simple Burnerソフトウェアを使って、パソコンのCDドライブに入っているCDを直接、本機のディスクへ録音することができます。

本機内のディスクを記録用媒体として使う

Hi-MDモードでお使いのディスクが入っているときは、パソコンの外部機器として、Windowsのエクスプローラ上で確認することができます。テキストデータや画像データなどをディスクに保存することができます。

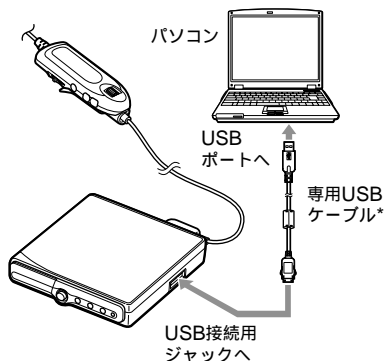
ソフトウェア上で曲を再生すると、Hi-MDモードでお使いのディスクが本機に入っている場合はパソコンのスピーカーから、MDモードでお使いのディスクが本機に入っている場合は本体につながっているヘッドホンから、再生音が聞こえます。

パソコンに接続する

本機とパソコンをつなぐときは、下記の手順で行ってください。

ご注意

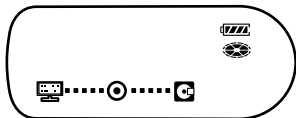
- **Windows 2000 Professionalをお使いの場合**
  パソコンの電源を入れる、または再起動するときは、本機と接続している専用USBケーブルを抜いてから行ってください。本機と接続したままでパソコンの電源を入れたり再起動し、その後専用USBケーブルを抜くと、次に再接続しても本機がパソコンに認識されないことがあります。認識されない場合は、専用USBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから本機を接続してください。Windows Updateを行ってWindowsを最新にすると、上記の問題が解消されることがあります。
- **Windows ME/98SEをお使いの場合**
  本機のディスクモードが「Hi-MD」に設定されている状態（お買い上げ時の状態）でパソコンに接続し、60/74/80分のブランクディスクを入れると、何も録音／記録しなくてもHi-MD形式のディスクになることがあります。
- **Windows ME/98SEをお使いの場合**
  専用USBケーブルを抜いたとき、パソコンに「デバイス取り外しの警告」というメッセージが表示されますが、問題ありません。「OK」をクリックして表示を消してください。

パソコンのUSBポートから電源が供給され、本体の電池を消耗させることなく使うことができます（バスパワー接続）。

* 本機には2本の専用USBケーブルが付属されています。接続する状況によって、お好きな方をお使いください。

1 **本体に録音用ディスクを入れる。**

2 **本体が停止していることを確認し、ホールドを解除して、本体とパソコンを専用USBケーブルでつなぐ。**

3 **正しく接続されたことを確認する。**

正しく接続されると、リモコンの表示窓に「 ⋯⋯◎⋯⋯ 」と表示されます。

専用USBケーブルを抜くときは

必ず下記の手順で行ってください。この手順で行わないと、データが破壊することがあります。

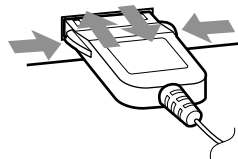
1 **DOWNLOADランプが点滅していないことを確認する。**

2 **本体またはリモコンの■を押す。**

リモコンの表示窓に「ディスクを交換できます」（「EJECT DISC OK」）と表示が出ます。

場合によっては、「ディスクを交換できます」（「EJECT DISC OK」）が表示されるまでに時間がかかることがあります。

3 **専用USBケーブルを抜く。**

本体から抜くときは、プラグの両側にあるボタンを押しながら、プラグを奥へ押し付けてから引き抜いてください。

ディスクを取り出すときは

1 **「専用USBケーブルを抜くときは」（上記）の手順1、2を行う。**

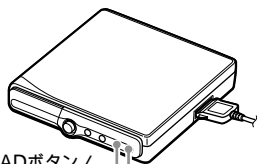
2 **ディスクを取り出す。**

次ページへつづく

ご注意

- パソコンに接続して使うときは、停電や専用USBケーブルが抜けてしまうなど、不慮の事故に備えて充分に充電した充電式電池を入れておくことをおすすめします。不慮の場合の不具合や、音楽データの転送の失敗、音楽データの破壊などについては保証いたしませんのでご注意ください。
- 本体から専用USBケーブルを抜いた後に再び接続するときは、2秒以上経過してから接続してください。
- 振動のない安定した場所でお使いください。
- 本機で再生をしているときは、パソコンと接続しないでください。
- パソコンと接続中に、パソコンでシステムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、システムハイバネーション（休止状態）のモードへ移行すると、不具合が生じることがあります。自動的に移行する設定は避けてください。
- USBハブを介して、本機とパソコンを接続しないでください。
- バスパワー接続で使っているときは、本体の充電池を充電することはできません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作保障をするものではありません。

パソコンを使ってCDから直接録音する

MD Simple Burnerソフトウェアを使って、パソコンのCDドライブに入っている音楽CDから、本機のディスクへ直接録音することができます。
ここでは、本体のDOWNLOADボタンを使った録音方法を説明します。その他の録音方法については、別冊の「インストール・操作ガイド SonicStage Ver.2.1/MDウォークマン用 MD Simple Burner Ver.2.0」またはヘルプをご覧ください。

1 **パソコンのCDドライブに音楽CDを入れる。**

2 **DOWNLOADボタンを約2秒押す。**
DOWNLOADランプが点滅に変わり、録音が始まります。
すでに録音してあるディスクを入れたときは、録音済み部分の後ろに録音されます。

録音を途中で中止するには

パソコン画面 の をクリックする。
1曲目を録音しているときは、本体の■ボタンを押して中止することもできます。

録音モードの設定については、別冊「インストール・操作ガイド SonicStage Ver.2.1/MDウォークマン用 MD Simple Burner Ver.2.0」をご覧ください。

ご注意

DOWNLOADランプが点滅しているときは、専用USBケーブルを抜かないでください。故障や誤動作の原因になります。

音楽データ以外のデータをディスクに保存する（データストレージ）

Hi-MDモードでお使いのディスクが入っている状態で本機をパソコンにつなぐと、Windowsで外付けの記憶媒体として認識され、音楽データ以外のデータ（テキストデータや画像データなど）をディスクに保存することができます。
各ディスクの容量について詳しくは、次ページをご覧ください。

Hi-MDモードでお使いのディスクを本体に入れ、パソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上で、外部機器として認識されます。他のデバイスと同じようにお使いください。

ご注意

- SonicStageソフトウェアが起動しているときは、外部機器として認識されません。
- パソコンでディスクをフォーマット（初期化）するときは、必ずSonicStageソフトウェア上でフォーマットしてください。
- エクスプローラ上で、ファイル管理フォルダ（HMDHIFIフォルダ、HI-MD.INDファイル）を削除しないでください。

ディスク別ディスク容量（本体／SonicStageソフトウェアで初期化した場合）

ディスクの種類	総容量	ディスク管理容量*	空き容量
60分ディスク	219 MB （229,965,824バイト）	832 KB （851,968バイト）	218 MB （229,113,856バイト）
74分ディスク	270 MB （283,312,128バイト）	832 KB （851,968バイト）	269 MB 282,460,160バイト）
80分ディスク	291 MB （305,856,512バイト）	832 KB （851,968バイト）	290 MB （305,004,544バイト）
Hi-MDディスク	964 MB （1,011,613,696バイト）	832 KB （851,968バイト）	963 MB （1,010,761,728バイト）

* ディスク管理容量とは、ディスク内のファイルを管理している領域の容量です。
* ディスク管理容量は、使用条件などによって容量が変化します。そのため、エクスプローラ上で表示される空き容量に対して、実際に使用できる空き容量が減少することがあります。

使用上のご注意

分解しないでください
ミニディスクプレーヤーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください
レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプター（付属の充電スタンド専用）について
- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  — 本機を棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  — 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

取り扱いについて
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  — 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  — 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  — 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  — 風呂場など湿気の多いところ。
  — 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  — ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因になります。
- 読み込み中や書き込み中にディスクを抜いたり、専用USBケーブルを抜いたりしないでください。正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。

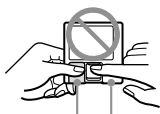
温度上昇について
充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について
本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

充電について

- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、指定の電池以外は充電しないでください。
- 充電には必ず、付属のACパワーアダプターをお使いください。
- 充電は、+5℃～+35℃の場所で行ってください。また、温度によって充電にかかる時間が異なります。（温度が低いと、充電時間が長くなります。これはリチウムイオン電池の特性によるものです。）
- 充電中は、充電スタンドや本体が熱くなりますが、危険はありません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった場合、充電式電池の持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分充電されるようになります。
- 充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と交換してください。
- 長い間お使いにならないときはACパワーアダプターをコンセントから抜き、本体を充電スタンドからはずしてください。
- 長い間お使いならないときは、充電池を取り外して湿度の低い涼しい場所で保管してください。保管する際は、充電池の劣化を防ぐため、充電池を使い切った状態や、100%充電の状態で保管しないでください。

ディスクの取り扱いについて

- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  - — **シャッターを手で開けない**
    無理に開けるとこわれます。

  - — **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**
  - — **置き場所について**
    直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。
  - — **定期的にお手入れを**
    カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせてしっかり貼ってください。

ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人に迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで、本機の操作はできません。

お手入れについて

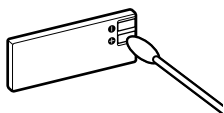
表面が汚れたときは

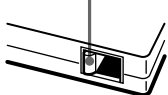
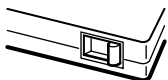
水気を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れ

プラグが汚れていると雑音や音切れの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。

端子のお手入れについて

定期的に充電式電池の端子を綿棒ややわらかい布などできれいにしてください。

誤消去防止つまみについて

録音したものを誤って消さないために、誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。つまみをずらして穴が開いた状態にすると、録音・編集ができません。録音・編集するときはつまみを閉めます。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

主な仕様

形式

ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式

磁界変調光学方式

再生読み取り方式

非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー

GaAIAsMQWダイオード、
λ=790nm

録音再生時間（詳しくは56ページ参照）

HMD1G（1GB）使用時：
　ステレオ最大 34時間（Hi-LP）
MDW-80をHi-MDモードで使用時：
　ステレオ最大 10時間10分（Hi-LP）
MDW-80をMDモードで使用時：
　モノラル最大 160分
　ステレオ最大 320分（LP4）

回転数

約350 rpm～3,600 rpm(CLV)

エラー訂正方式

Hi-MD：
　LDC (Long Distance Code)／BIS (Burst Indicator Subcode)
MD：
　ACIRC (Advanced Cross Interleave Reed Solomon Code)

サンプリング周波数

44.1kHz

コーディング

Hi-MD：
リニアPCM（44.1kHz/16bit）—
PCM
ATRAC3plus (Adaptive
TRansform Acoustic Coding
3 plus) — Hi-SP/Hi-LP
MD：
ATRAC
ATRAC3 — LP2/LP4

変調方式

Hi-MD：
1-7RLL (Run Length Limited)/
PRML (Partial Response
Maximum Likelihood)
MD:
EFM (Eight to Fourteen
Modulation)

周波数特性（ヘッドホン出力時）

20〜20,000 Hz±3 dB

出力端子

🎧：ステレオミニジャック（専用リモコンジャック）

実用最大出力（DC時）[1]

ヘッドホン：5 mW + 5 mW（16 Ω）

電源

本体：
充電式リチウムイオン電池
LIP-4WM、3.7V、370mAh、
Li-ion　1個
充電スタンド：
ACパワーアダプター DC 6V, AC
100V, 50/60 Hz

動作温度

＋5℃〜+35℃

電池持続時間[1]

「電池の持続時間」（18ページ）参照

本体寸法

約81.9 × 76.5 × 15.2 mm
（幅/高さ/奥行き、突起部含まず）

最大外形寸法[1]

約84.0 × 76.5 × 15.4 mm
（幅/高さ/奥行き）

質量

約101g（本体のみ）
約111g（充電式電池含む）

[1] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

ステレオヘッドホン[1] MDR-EX51SP、
MDR-EX71SL、MDR-E931SP
アクティブスピーカー SRS-Z510/Z30など
ミニディスク（生ディスク）ESシリーズ
記録用Hi-MDディスク HMD1G
リチウムイオン充電池 LIP-4WM

[1] ヘッドホンは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。

下記の機種は、本機ではお使いいただけません。
ロータリーコマンダー RM-WMC1
MDラベルプリンター MZP-1
ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラー RPT-M1

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。（メッセージ一覧（50ページ）も合わせてご覧ください。）メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
また、本書の手順の中や「メッセージ一覧」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2　「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる

http://www.sony.co.jp/support-pa/ で調べる。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその解答を掲載しています。

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

お客様ご相談センター（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

充電について

症状	原因	対策
充電ができない、または充分に充電ができない。	充電式電池が正しく入れられていない。またはACパワーアダプターが正しくつながっていない。	充電式電池を正しく入れ直す。またはACパワーアダプターを正しくつなぐ。
	お買い上げ時や長い間使わなかった場合は、電池の特性により持続時間が短いことがある。	何回か充放電を繰り返すと、充分に充電されるようになります。
	充電式電池が消耗しきっている（充電スタンドにおいても表示窓に何も表示されない）。	充電してください。1分程すると充電が始まります。それでも充電が始まらないときは、もう一度本体を充電スタンドに置き直してください。
	充電している場所の温度が低すぎる、または高すぎる（「+5℃〜+35℃内で充電してください」（「CHARGE +5℃〜+35℃ 41F〜95F」）が表示される）。	充電は+5℃〜+35℃の場所で行ってください。
	充電式電池が入っていない。	充電式電池を入れてください。
使っていなかったのに充電式電池が消耗してしまった。	「クイックモード」（「Quick Mode」）の設定が「クイックモードオン」（「Quick On」）になっていた（33ページ）。	「クイックモード」（「Quick Mode」）の設定が「クイックモードオン」（「Quick On」）の場合、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなります。充電が充分ではない状態でかつ、設定が「クイックモードオン」（「Quick On」）になっていると、使わない間に充電式電池が消耗しまうことがあります。そのときは、もう一度充電してください。
充分に充電しても使える時間が通常の半分程しかできない。	電池の寿命かもしれません。	新しい充電式電池と交換してください。
充電中に本体や充電スタンドが熱くなる。	故障ではありません。	—

再生中

症状	原因	対策
通常の再生ができない。	リピート再生を指定している。	P-MODE・REPEATボタンを2秒以上押して、⮌（リピート）表示を消してから再生を始めてください（27ページ）。

通常の再生ができない。	再生モードを変えた。	メイン再生モード（24ページ）やサブ再生モード（27ページ）を、通常の再生に戻してから再生を始めてください（24ページ）。
ディスクの1曲目から再生しない。	前回再生したときディスクの途中で止めた。	一度停止させ、リモコンではジョグレバー（►II•ENTER）を、本体では集中コントロールキー（►II）を、2秒以上押したままにしてください。
再生中に音がとぎれる。	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使ってください。
雑音が多い。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置いてください。
音が大きくならない。	AVLSが働いている。	AVLSの設定を解除してください（31ページ）。
ヘッドホンから音が出ない。	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	🎧ジャックにしっかり差し込んでください。 リモコン本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込んでください。
	プラグが汚れている。	ヘッドホンとリモコンのプラグ部分を乾いた布などで拭いてください。
他の機器でディスクが再生できない。	Hi-MDに対応していない機器で再生しようとした。	Hi-MDディスクはHi-MD対応の機器でのみ再生することができます。
集中コントロールキーをFFまたはFR側に倒すと前のグループや次のグループ（またはいくつか前の曲やいくつか次の曲）へ飛んでしまう。	集中コントロールキーをFFまたはFR側へ倒す前にGROUPを押した。	何も操作せずに5秒以上待つと、自動的にグループスキップが解除されます。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる。	システム上の制約です。再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、音がとぎれることがあります。（57ページ）	—
ラジカセやアンプなどを使って録音したものを再生をする、またはラジカセやアンプなどをつないで再生をすると、片方の音が出ない。	ラジカセやアンプなどにモノラルのコードを使って接続すると、片方（Rチャンネル）の音が出ません。	必ずステレオのコードを使ってください。接続先の機器がモノラル仕様の場合は、ステレオのコードを使っても片方（Rチャンネル）の音は出ません。
グループ機能が働かない。	グループ設定されていないディスクが入っている。	グループ設定されているディスクを入れてください。

パソコンとの接続中

症状	原因	対策
本機がパソコンに認識されない。	専用USBケーブルがきちんと接続されていない。	専用USBケーブルをきちんと接続してください。
	USBハブを使用している。	パソコンのUSB端子に直接接続してください。
	通信に失敗している。	専用USBケーブルを抜き、2秒以上経過してからもう一度接続してください。それでも認識されない場合は、接続をはずし、パソコンを再起動させてから接続し直してください。
正常に動作しない。	USBハブを使用している。	パソコンのUSB端子に直接接続してください。
	振動のある場所で使っている。	振動のない、安定した場所で使ってください。
音楽データ以外のデータを保存できない。	SonicStageまたはMD Simple Burnerソフトウェアが起動している。	SonicStageまたはMD Simple Burnerソフトウェアを終了してから操作してください。
パソコンから転送した曲の演奏時間がパソコン上の演奏時間と一致しない。	本体とパソコンの計算誤差です。	—
ディスクの録音可能時間いっぱいに音楽データを転送できない。(例:80分ディスクに対してLP2ステレオ録音で160分転送できない。)	システム上の制約です。録音は、何秒かの単位でされるため、短い曲をたくさん録音すると、いわゆる「無駄な」録音部分が増えて、合計時間とあわなくなります(58ページ)。	—
パソコンで表示されるディスクの容量と、ディスクに表示されている容量に差がある。	ディスク容量は、パソコン上では2進法で表現されますが、ディスクなどの記録媒体では10進法で表現されるため、差が生じます。ディスク容量について詳しくは55ページをご覧ください。	—
本体の操作ができない。	パソコンと接続しているときは、本体を操作することができません。	—
DOWNLOADボタンで録音できない。	パソコンと接続されていない。	専用USBケーブルで接続してください。
	パソコンのCDドライブに音楽CDが入っていない。	音楽CDを入れてください。
	ディスクに録音できる容量が足りない。	他の録音ディスクと取り換えてください。
ふたが開かない。	本体に充電式電池が入っていない状態、または充電式電池が消耗している状態で、パソコンからの転送/録音/編集中に専用USBケーブルをはずした。	専用USBケーブルをつなぐ、または充電した電池を入れ、■を押す。

その他

症状	原因	対策
表示窓に「シンプル／アドバンスド」と表示されている。	お買い上げ後、はじめてメニュー操作をしようとした（リモコンのジョグダイヤルを2秒以上押した）。	メニューモードを設定してください（21、31ページ）。
表示されないメニュー項目がある。	メニューモードが「シンプル」（「Simple」）になっている。	メニューモードを「アドバンスド」（「Advanced」）に設定して、すべてのメニュー項目を表示させてください（31ページ）。
操作を受けつけない、または正しく動作しない。	充電式電池を充電していない。	充電してください。
	音量が小さくなっている。	音量を上げる。
	ディスクが入っていない。	録音済みのディスクを入れてください。
	ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る）。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください（13、14、17ページ）。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてください。
	結露（内部に水滴が付着）している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おいてください。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN 6Vジャックとコンセントにしっかり差し込んでください。
	電池が消耗している（「電池残量がありません／LOW BATTERY」表示が点滅または何も表示されない）。	充電する（16、17ページ）。またはACパワーアダプターをつないでください。
	損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入力されていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおしたり、録音しなおしてください。それでもエラー表示が出るときは、他のディスクと取りかえてください。
	内部システムが誤動作している。使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けている。	次の手順で操作しなおしてください。 1 すべての電源をはずし、専用USBケーブルを抜く。 2 約30秒間そのままにする。 3 電源をつなぐ。
液晶表示が通常表示と違う。	電源を抜いた。	しばらく放置する。または電源を入れていずれかの操作ボタンを押してください。
ACパワーアダプターでお使いのとき、動作していないのに表示窓がかすかに光っている。	約80%充電が完了した後、100%充電になるまでは光っています（17ページ）。	—
60/74/80分ディスクがSonicStageソフトウェアで初期化した、または選択した動作モードになっていない。	60/74/80分のブランクディスクを本機でお使いになる場合、動作モードはメニューの「ディスクモード」（「Disc Mode」）の設定に従います。	メニューの「ディスクモード」（「Disc Mode」）で希望の動作モードに設定してください（34ページ）。

メッセージ一覧

リモコンの表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示（日本語）	表示（英語）	意味	対策
AVLS ON 音量をあげられません	AVLS NO VOLUME OPERATION	AVLSの設定が「AVLSオン」（「AVLS On」）になっているので、これ以上音量をあげられない（31ページ）。	AVLSの設定を「AVLSオフ」（「AVLS Off」）にしてください。
ブランクディスクです	BLANKDISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
しばらくお待ちください	BUSY WAIT A MOMENT	ディスクの情報を読んでいる。録音または編集の内容の処理をしている。	しばらく待ってください。まれに1分ほどかかる場合があります。
録音・再生ができないディスクです	CANNOT RECORD OR PLAY	再生できる音楽データが入っていない。 音楽データまたは管理ファイルが壊れている。	他のディスクと取りかえてください。またはSonicStageでディスクを初期化してください。
+5℃～+35℃内で充電してください	CHARGE 5℃–35℃ 41F–95F	指定温度ではないところで充電しようとした。	指定温度の範囲内（+5℃～+35℃）で充電してください。
充電中です	Charning	充電中に表示される（16、17ページ）。	—
DC-INの電圧が高過ぎます	DC IN TOO HIGH	電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターを使っていない）。	指定のACパワーアダプターを使ってください。
ディスク容量が一杯です	DISC FULL	ディスクの残り時間が48秒以下の場合、録音できないことがある（録音時）。	他の録音用ディスクと取り換えてください。
D-L READY	D-L READY	MD Simple Burnerのシンプルモードでcdを録音する準備ができている（インストール・操作ガイド参照）。	—
ディスクを交換できます	EJECT DISC OK	パソコンとの通信が終了したため、ディスクを取り出したり専用USBケーブルをはずしても安全です。	—
これ以降の曲はありません	End	再生中またはジョグレバーを▶▶I側へずらしているとき（本体では集中コントロールキーをFF側へ倒しているとき）に、ディスクの最後まで到達した。	—
ERROR	ERROR	内部システムが誤動作している。	49ページ表中の手順1～3を行ってください。

表示（日本語）	表示（英語）	意味	対策
エラーXX	ERROR XX	内部システムが誤動作している。呼び出しに失敗した。	49ページ表中の手順1～3を行ってください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、お客様ご相談センターへご相談ください。
使用できないディスクです	FORMAT ERROR DISC	本機が対応していないフォーマットのディスクが挿入された。	MDまたはHi-MDフォーマットのディスクを入れてください。
		パソコンでフォーマットされたディスクが挿入された。	パソコンでフォーマットするときは必ずSonicStageを使ってフォーマットしてください。
HOLDがかかっています	HOLD	ホールド機能が働いている。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください（13、14、17ページ）。
電池残量がありません	LOW BATTERY	電池が消耗した。	充電池を充電し直してください（16、17ページ）。
メモリーオーバーです	MEMORY OVER	振動のあるところで録音を始めた。	振動のないところで録音してください。
メインプレイモードならびに曲選択中です	NAVIGATION	リモコンでメイン再生モードを選択中に、本体のボタンを操作した。	—
ブックマークされている曲がありません	NO BOOKMARKED TRACK	ブックマークがついていないディスクでブックマーク再生をしようとした。	ブックマークをつけてから（26ページ）操作してください。ブックマークがついているディスクで操作してください。
デジタルコピーできません	NO DIGITAL COPY	シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）によりダビングは禁止されている。	—
ディスクが入っていません	NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
メモリーされていないディスクです	NO DISC MEMORY	ディスクメモリーを登録していないディスクでディスクメモリーを削除しようとした。	—
アーティスト名が入力されていません	NO NAME	アーティスト名がついている曲が入っていないディスクで、メイン再生モードをアーティスト再生にした。 アーティスト名がついている曲が入っていないディスクで、曲の検索中に「アーティスト検索」（「by Artist」）を選ぼうとした。	—

困ったときは

表示（日本語）	表示（英語）	意味	対策
操作できません	NO OPERATE	リモコンでプログラムの設定をしているときに、グループスキップしようとした。	—
アルバム名が入力されていません	NO TITLE	アルバム名がついている曲が入っていないディスクで、メイン再生モードをアルバム再生にした。 アルバム名がついている曲が入っていないディスクで、曲の検索中に「アルバム検索」（「by Album」）を選ぼうとした。	—
何も録音されていません	NO TRACK	何も録音されていないディスクを再生しようとした。	録音済みのディスクを入れてください。
PC接続中です	PC – – MD	コンピュータに接続されている。	コンピュータとの接続をはずしてください（37ページ）。
ディスクが誤消去防止状態です	PROTECTED DISC	ディスクが誤消去防止状態になっている（44ページ）。	誤消去防止つまみを戻してください。
STOPボタンを押してください	PUSH STOP BUTTON	専用USBケーブルが接続されている状態で、本機がディスクの情報を記録しているときに、OPENつまみをずらしてふたを開けようとした。	操作は、「システムファイルの書込み中です」（「SYSTEM FILE WRITING」）が消えてから行ってください。
読み込みエラーです	READ ERROR	ディスクの情報を正しく読み取れなかった。	ディスクを入れ直してください。
温度上昇し過ぎた為録音停止しました	TEMP OVER REC STOP	録音中、本機の温度が高くなりすぎたため、録音を停止した。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TOCデータに異常があります	TOC DATA ERROR	ディスク情報を正しく読み取れなかった。	他のディスクと取りかえてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときは
  お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
  当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

知っておくと便利です

ここではポータブルMDプレーヤーをお使いになる際に知っておくと便利な情報を、Q&A形式で簡単に説明します。

Q1: Hi-MDとは？

A1: Hi-MDとは、新しいミニディスクのフォーマットです。
従来のミニディスクから、ディスクの記録方式を変え、更に長時間の録音が可能になりました。また、パソコンの外部機器として、音楽データ以外のデータ（例えば、テキストデータや画像データ）もミニディスクに記憶することができるようになりました。
Hi-MDの特徴については、同梱の「Hi-MDウォークマンでこんなことができます」をご覧ください。

Q2: ATRAC3plusとは？

A2: ATRAC3plusとは、ATRAC3を更に発展させたオーディオ圧縮技術です。
これまでのATRAC3（本機のLP2/LP4ステレオモード）の圧縮率が、CDの1/10だったのに対し、ATRAC3plus（本機のHi-SP/Hi-LPステレオモード）はCDをベースに比較すると、1/20という高い圧縮率かつ高音質を実現しています。

Q3: Hi-MDモードとMDモードとは？

A3: 本機は「Hi-MDモード」と「MDモード」の2つのモードを持ち、挿入されたディスクのモードを自動的に判別します。ブランクディスクが本機に挿入されたときは、どちらのモードで録音するかを選択することができます（Hi-MD規格専用1GBディスクを除く）。
メニューのディスクモードの設定（34ページ）を「Hi-MD」または「MD」に設定して録音してください。

Q4: リニアPCMとは？

A4: デジタル圧縮しない音声記録方式です。この方式で録音すると、CDと同じ音質を楽しむことができます。

Q5: 「システムファイル」とは？

A5: 音声以外の情報を記録するミニディスク上の領域です。
どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。
録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などの際、ミニディスクレコーダーはシステムファイルの書き換え作業を行います（この間は表示窓に「システムファイルの書込み中です」（「SYSTEM FILE WRITING」）が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

Q6: サンプリングレートとは？

A6: サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけの量のデジタル信号にするかを表す数値です。
一般に数値が大きいほど高音質になります。サンプリングレートの異なる機器同士では、通常デジタル信号によるダビングはできません。これを可能にするのが、サンプリングレートコンバータです。コンバータは、デジタル信号を他のサンプリングレート用のデジタル信号に変換します。本機はこのコンバータを内蔵しています。光デジタル入力端子に入ってきたサンプリングレートの異なる信号（BSチューナー:32kHz, DAT:48kHzなど）は、コンバータによって、MDのサンプリングレート（44.1kHz）に変換されて録音されます。

Q7: ATRAC/ATRAC3用DSP TYPE-Sとは？

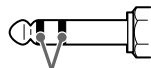
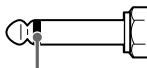
A7: ソニーのハイスペックMDデッキに搭載されているATRAC用DSP TYPE-Sを採用。
MDLPモードや132/105/66 kbpsで転送された曲の再生時に高音質で楽しめます。
また、このDSPにはATRAC用DSP TYPE-Rの演算能力も継承されていますので、TYPE-SまたはTYPE-R対応機器でSPステレオ録音された曲の再生にも優れています。

Q8: Net MDとは？

A8: パソコン内に入っている音楽データを、USBケーブルを介してミニディスクに録音できる規格です。
従来のMDが録音できる音源の種類は、マイクやアナログ入力からのアナログ音源または、音楽CDなどからのPCM音源のみだったため、パソコンからの録音は不可能でした。
しかし、「OpenMG」[1)]と「MagicGate」[2)]という著作権保護技術に基づいた音楽管理ソフト（SonicStageなど）を使って「ATRAC」[3)]、「ATRAC3」[3)]という音楽データの形式に変換することにより、MDへの録音が可能となりました。

[1)] パソコンに取り込まれたCDなどの音楽データを管理するための著作権技術
[2)] パソコンとNet MD機器の間で、お互いが著作権保護に対応しているかの認証を行う技術
[3)] 従来のMDの録音時に変換される形式

Q9: ステレオプラグとモノラルプラグの見分けかたは？

A9:

Q10: 1枚のディスクにどれくらい長く録音できるの？

A10: ディスクの種類と転送モードによって録音時間は異なります。次の表で録音時間を確認してください。

Hi-MDモードでお使いの場合

パソコンから転送する場合	録音時間[1]			
コーデック／ビットレート	Hi-MD規格専用1GBディスク	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
リニアPCM/1.4Mbps	約1時間34分	約28分	約26分	約21分
ATRAC3plus/256kbps	約7時間55分	約2時間20分	約2時間10分	約1時間45分
ATRAC3plus/64kbps	約34時間	約10時間10分	約9時間25分	約7時間40分
ATRAC3plus/48kbps	約45時間	約13時間30分	約12時間30分	約10時間10分
ATRAC3/132kbps	約16時間30分	約4時間50分	約4時間30分	約3時間40分
ATRAC3/105kbps	約20時間50分	約6時間10分	約5時間40分	約4時間40分
ATRAC3/66kbps	約32時間50分	約9時間50分	約9時間	約7時間20分

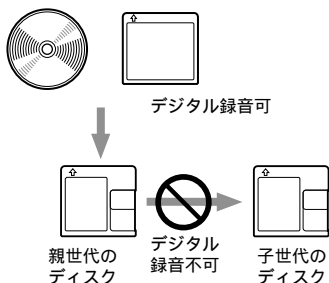
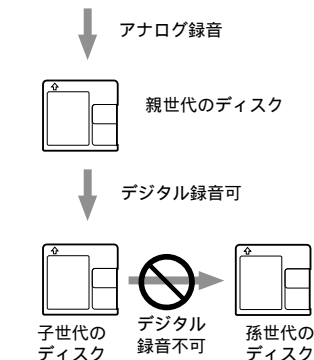
[1] 1曲5分の曲を転送した場合

MDモードでお使いの場合

パソコンから転送する場合	録音時間[1]		
コーデック／ビットレート	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
ステレオ転送ATRAC/292kbps	約80分	約74分	約60分
ATRAC3/132、105kbps	約2時間40分	約2時間28分	約2時間
ATRAC3/66kbps	約5時間20分	約4時間56分	約4時間

[1] 1曲5分の曲を転送した場合

Q11: デジタル録音をしたディスクを他のディスクに録音できますか？

A11: CDや再生専用MDなどの市販ソフトから、光デジタル入力端子を使って録音したミニディスクは、さらに他の機器でデジタル録音することはできません。
本機は、音楽ソフトの著作権を保護するため、「シリアルコピーマネジメントシステム（SCMS）」に準拠しています。光デジタル入力で録音したミニディスクを別のミニディスクに録音するには、アナログ入力（LINE IN）を使ってください。

ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

Q12: MDの曲番はどうやってつくの？

A12: CDなど曲番のついたメディアから録音した場合、録音元のCDなどと同じところに曲番をつけます。
なお、CDで「-0:03」から新しい曲番が始まっているときは、0:00になった時点でMDに新しい曲番がつきます。

Q13: 編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれるのはなぜ？

A13: システム上の制約です。
再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い曲がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

Q14: 曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えないのはなぜ？

A14: システム上の制約です。
ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下（ステレオ録音時)、24秒以下（LP2ステレオ録音、モノラル録音時)、または48秒以下（LP4ステレオ録音時）の部分は無視します。このため短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

Q15: ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間（60分、74分、80分）に一致しないのはなぜ？

A15: システム上の制約です。
通常、録音はステレオ録音時で約2秒、LP2ステレオ録音またはモノラル録音時で約4秒、LP4ステレオ録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒（4秒または8秒）に満たない場合でも約2秒（4秒または8秒）分のスペースを使います。また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒（4秒または8秒）分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）ずつ短くなります。

索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

アルファベット・数字

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.co.jp/support-pa/）
  本機に関する最新サポート情報や、お問合せが多い質問と回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記参照）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：
    - シリアル番号：記載位置は別紙「カスタマー登録のお願い」を参照
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    - ソフトウェアのバージョン：
    - お使いのパソコン（メーカー名／型名）
    - パソコンにインストールされているOS名：
    - メモリ容量／ハードディスクの空き容量：
    - CD-ROMドライブの型名／種類（外付けまたは内蔵）：
    - エラーメッセージ（エラーメッセージが表示された場合）：

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ……………………… 0466-31-2595
受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

3266521O3 (1)

Printed in Japan